

活動名	コミュニケーショントレーニング			
	様々な活動を通して、コミュニケーション能力を向上させるきっかけを作り、望ましい人間関係作りを促します。			
活動のねらい	○学級や学年などで、初めての出会いや、交友関係の広がりを円滑にし、今後の人間関係をよりよいものにします。 ○活動を通して、円滑なコミュニケーションのために必要な要素について考え、よりよい集団づくりへの意識を高めます。			
育つ力、身につく力	コミュニケーション力、協調性			
活動条件	実施場所	体育館、講堂など	集合場所	実施会場
	所要時間	60～90 分	人 数	10～100 名程度
	開始可能時間	①10:30 ②13:30 ③15:00	対 象	小学3年生以上
	実施時期	通年	その他	荒天時代替プログラムとしては不可
	職員による指導の内容	活動の進行、指導内容の作成 (指導依頼の場合、職員 1 人につき 3,000 円)		
	引率者の役割	参加者の状況把握(人数確認・体調管理含む)、 個別のフォロー、グループ分け		
準備するもの	交流の家で用意するもの		購入していただくもの	
	☆活動に必要な用具一式 ☆ふりかえりアンケート		☆なし	
			団体で用意するもの	
			☆筆記用具 ☆運動しやすい服装	
活動の流れ	活動項目	所要時間	活動内容(例)	
	活動準備	10 分	□引率者との最終打ち合わせ(流れの確認、役割の確認) □気になる参加者の情報共有	
	活動1	25 分	□間違いや失敗を許容できる場づくりの活動 ・「前後左右」「カウントアップ」など □互いを知り、信頼関係を深める活動 ～お互いを知り合うことで、少しずつ信頼関係を築く。 ・「仲間探し」「絵合わせ」「私はだあれ」など	
	活動2	40 分	□協力して課題解決をめざす活動 ～協力する過程でチームに必要な要素に気付く。 ・課題解決型のグループワークトレーニング ・アドベンチャー教育の手法を活かしたアクティビティ	
	ふりかえり ・ シェアリング	15 分	□活動の目的が達成できたかどうかを考え、振り返る。 (個人で・グループで) □活動を通して、気付いたことを交流し合う。	
注意事項	○求められる活動のねらいによって、進め方や活動内容が変わってきます。事前に引率者とねらいを確認し、それに合わせた活動案を作成しますので、急な指導依頼には対応できません。また、 同様の理由で、他の活動の雨天時代替プログラムとしてはご利用いただけません。 ○参加者の状況に合わせて、「アイスブレイク」とセットにすることができます。 ○活動の進行は、交流の家職員で行いますが、児童・生徒の全体指導・個別指導については、引率者が行うようにしてください。 ○人数が多い場合には、場所の関係などを考慮し、グループを分けて頂くことがあります。			